

《短報》

チャイログンバイについて

田中伸一

〒746-0065 山口県周南市上迫町2-40

チャイログンバイ *Physatocheila orientis* Drake, 1942 は、寄生植物や生態の詳細はよくわかっていないようだが（石川ほか, 2012）、本種を採集したので、採集記録と採集状況（寄生植物など）を報告する。なお、採集者は全て筆者であり省略した。

チャイログンバイ *Physatocheila orientis* Drake, 1942 (図1)

周南市(鹿野)須万秘密尾, 13♂12♀, 2019.6.20, 同, 3♂3♀, 2019.07.05, 山口市阿東嘉年下十種ヶ峰, 1ex, 2019.5.23.



図1. 山口県産チャイログンバイ (左. ♂; 右. ♀)  
※スケールは1mm

秘密尾には、フトハサミツノカメムシ *Acanthosoma crassicaudum* Jakovlev の採集目的で、イヌザクラ *Prunus buergeriana* のスウィーピングを行ったところ本種が採集された。また、少なからず幼虫も確認出来た。矢崎 (2019) は、同属の *Physatocheila nigrintegerrima* Souma, 2019 を、ケンポナシの果実のついた枝からの採集を報告している。秘密尾で採集したイヌザクラには多数の果実が付いていたので、チャイログンバイも果実を利用している可能性が十分あると考えられた。十種ヶ峰の個体は、スウィーピングで採集したもので、どの植物ついていたかはわからない。

参考文献

石川 忠・高井幹夫・安永智秀 (2012) 日本原色カメムシ図鑑第3巻. 全国農協教育協会, 573pp.

矢崎耀一 (2019) 長野県および新潟県における *Physatocheila nigrintegerrima* の記録. 月刊むし, (586): 3-4.